

シニア団体活動支援事業は、元気な高齢者が地域の活動に参加するきっかけをつくり、高齢者の社会参加と自主的活動を促進し、高齢者の生きがいと健康づくりを目的としております。この広報誌では、年齢を感じさせず、いきいきと活動している本事業登録団体をご紹介します。

須賀川たちばな日舞会

活動エリア	市町村	活動内容	活動日時	構成	年齢	内容
県中地区	須賀川市	歳時記に合わせた観光行事出演、福祉施設慰問ボランティア活動等	お稽古は1回あたり2時間程度 曜日、回数等応相談	男性 1名	23歳～80歳	14名
				女性 14名		15名
				計 15名		
活動内容	活動日時	会費	活動日時	活動日時	活動日時	活動日時
		応相談				

〈姉妹都市への震災支援御礼〉

須賀川たちばな日舞会は、須賀川市で長年活動している正派若柳流日本舞踊の団体だ。平成28年11月20日(日)に神奈川県座間市で開催された「第31回座間市民ふるさとまつり」に友好姉妹都市須賀川市の代表として招待され、復興のPRと震災支援への御礼のために座間音頭や須賀川小唄等を披露してきた。



取材当日は「座間市民ふるさとまつり」出演に向けて合同練習が行われた。

〈須賀川市歌 須賀川小唄の継承に向けて〉

会ではボランティアや文化継承に積極的だ。須賀川市制60周年を迎えた2015年から、須賀川市と同時に誕生した須賀川市歌と須賀川小唄を後世に伝えるべく現代風にアレンジして再興、普及に努めている。特に須賀川小唄は、現存する資料がほとんど無く、三味線演奏を元に採譜し譜面を起こすところから始めたという。



今回お話を伺った皆さん。日舞指導を行うのは事務局を務める先崎純子氏。(写真前列中央)

日舞指導を行う

団体事務局の先崎純子氏は「地元にある素晴らしい歌と踊りを若い人にもっと知ってほしい」と意欲を見せた。入会に関する問合せは、団体事務局まで。

白百合俳句会

活動エリア	市町村	活動内容	活動日時	構成	年齢	内容
会津地区	北塩原村	俳句制作、村広報誌等への選句	毎月第3土曜日 9時30分～11時30分 例会(句会) 北塩原村構造改善センター	男性 2名	35歳～90歳	4名
				女性 4名		6名
				計 6名		
活動内容	活動日時	会費	活動日時	活動日時	活動日時	活動日時
		月会費500円				

〈北塩原村内の有名団体〉

白百合俳句会は、村内で35年に渡り活動している俳句団体だ。毎月定期句会の開催を始め、村の広報紙「広報きたしおぼら」の文芸コーナーや生涯・行政カレンダーに俳句を掲載している村内でも有名な団体である。村民が会員のため、お互い人となりをよく知り、雰囲気も和気あいあいとしている。

〈目標は句集最新号発行〉

俳句指導を行っていた五十嵐氏が逝去され、現在は会長の遠藤聖一郎氏が俳句を指導。遠藤会長は「俳句の添削は理想の俳句ではないし、それぞれ個性がある。個性に合う句を目指したい」との思いで指導に当たっている。会長の手柄も相まって、句会では会員との俳句指導のやりとりも熱が入る。会では数年に1回句集を発行して



これまでに発行された句集。当面の目標は句集最新号の制作だという。



定期句会の様子。毎月10日までに7首俳句を詠み、提出することになっている。



今回お話を伺った皆さん。俳句指導を行うのは会長を務める遠藤聖一郎氏。(写真前列中央) 参加者最高齢90歳の女性は、「俳句は自分のペースででき、毎日の生活が何でも俳句につながる。辞めたら呆けちゃうわ」と笑顔で答えた。

おり、そろそろ新たな句集を発行する時期だという。遠藤会長は「句集の最新号を制作し、俳句をこれからもできる限り続けていきたい」と意欲を見せた。

洋画研究団体 新彩会

活動エリア	県中地区	構成	男性	女性	計
市町村	須賀川市	年齢	7名	7名	14名
電話番号・FAX メールアドレス等	Tel 0248-76-1512 (会長宅)	活動日時	定例会評会 毎月第2土曜日 19時～21時	構成	58歳～85歳
活動内容	定期合評会の他、年2回(春・秋)展覧会とスケッチ旅行(県内)実施	会費	年会費10,000円		

〈40年以上活動の老舗芸術団体〉

洋画研究団体 新彩会は、活動歴40年以上の老舗洋画団体だ。毎月第2土曜日にはお互いの作品を評価し合う合評会を行い、毎年春と秋の年に2回スケッチ旅行と発表展覧会を開催している。美大出身者から独学で勉強した方まで会員は様々だが、福島県総合美術展覧会(県展)をはじめ県内外の展覧会に入賞する会員も多数おり、会員同士で平日頃から切磋琢磨している。



取材当日は新彩会秋の展覧会が開催されていた。



今回の展覧会には会員一人当たり3～4点出展している。毎月1作品製作を目標に掲げ、定例の合評会にて会員同士作品について意見交換をするという。

〈後継者育成も「継続は力なり」〉

新彩会では、後継者育成にも力を入れている。別団体で会長の高野弘司氏の指導により、石膏デッサンの基礎から勉強し、そこで経験を積んだ卒業生は新彩会に所属する流れをとっており、定期的に新会員が入るといふ。「美術は習得に時間がかかる。常に向上心を持ち「継続は力なり」を実践していくのみです」と高野会長は熱く話していた。

入会に関する問合せは、会長または須賀川市中央公民館まで。



今回お話を伺った会長の高野弘司氏。

ひらりぎ会

活動エリア	県北地区	構成	男性	女性	計
市町村	二本松市	年齢	0名	21名	21名
電話番号・FAX メールアドレス等	Tel 0243-22-6640	活動日時	毎月第1木曜日 例会と勉強会 毎月第1・3水曜日 の他不定期活動	構成	60代～80代
活動内容	福祉施設でのボランティア活動	会費	月会費500円		

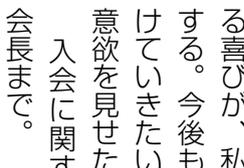
〈施設でのボランティア活動〉

ひらりぎ会は、二本松市内で活動しているボランティア団体だ。昭和51年主婦数人が新聞広告等で呼びかけ、団体を発足。昭和56年に「ひらりぎ会」に改名し、今に至る。現在は、福祉施設での活動が中心で、生花クラブの活動やオカリナ伴奏の懐メロ合唱などのレクリエーション手伝い、デイサービスの付添いや作品づくりの手伝い等、施設の依頼に応じ様々なボランティア活動をしている。

〈ボランティアに臨む心構え〉

会では「いつも謙虚であること」「認知症の方の経験や感情を認め、共感する」「感謝の言葉を期待しない」等ボランティアに臨む心構えを指導。そのためか、会には優しい気持ちと笑顔が自然と伝わるような雰囲気があるそうだ。

現会長の増子春子氏始め、会員の皆さんは「誰かのために何かする喜びが、私たちも元気になる。今後でもできる限り続けていきたい」と口ぐちに意欲を見せた。



入会に関する問合せは、会長まで。



取材当日はレクリエーションとして生花の作品作りと歌のボランティア活動が行われた。利用者の方と一緒にお花を生け、施設内に飾る。

生花の後、会長によるオカリナ演奏を伴奏に懐メロや唱歌などを10曲以上合唱。懐かしい歌を思い出しながらみんなで一緒に唄った。



今回お話を伺った皆さん。現会長は増子春子氏。(写真左側) ボランティアは日程と参加可能な人を会員間で調整している。

シニア団体活動支援事業の登録団体を募集しております

—いきいきと活躍するシニアサークル・団体の登録をお待ちしております—

●活動紹介してみませんか？

いきいきと活動している県内のサークルや団体の活動状況を本会ウェブサイトや本チラシでご紹介します。

●対象となるのは？

シニア世代が中心となって活動されているサークル・団体様(年齢構成、活動内容、法人格の有無は問いません)

●参加方法は？

この事業は登録制で、登録は無料です。年度途中からの参加も可能です。登録のご案内やご不明な点がある場合は、本会に直接お問合せ下さい。

●発行元・問合せ先 福島県社会福祉協議会 いきいき長寿課

〒960-8141 福島市渡利字七社宮111番地 福島県総合社会福祉センター3階
TEL (024) 524-2224 FAX (024) 524-2228